



第10図 L14 点火プラグ
取付けネジ外径 10mm
リーチ 12.7mm

第11図 L16 点火プラグ
取付けネジ外径 10mm
リーチ 12.7mm



第13図 7石カーラジオ TM-707



第14図 8石カーラジオ WM-800L



標準形 強力形カーヒータ ブロウモータ
第12図 汎用カーヒータ、ブロウモータ

速な普及とともに、これを自動車として利用するようになってきた。

すでに日立製作所では、LPG 専用の燃料装置として GHA-7A 形、GHB-7A 形および GHC-7A 形のアダプタ方式による各種 LPG 燃料装置のキットの量産化に成功したが、その後一つの気化器内に LPG とガソリンの両方の燃料系統を有した一体併用形の気化器を開発した。これにより従来のアダプタ形より取扱い容易でかつ小形軽量化することができた。さらに市場の要望に応ずるため LPG 専用の気化器を開発した。

この方式による燃料装置には、ダットサンブルーバード 1200cc 車用として GSA-5A 形、ニッサンセドリック 1500cc および 1900cc 車用として GSC-5A 形の燃料装置があり、これらの LPG 燃料装置は燃料をろ過するフィルタ、燃料の流出遮断をする電磁弁、エンジン停止時に燃料の流出を完全かつ自動的に防止するロックオフスイッチ、液状のガスを減圧気化させて一定の圧力に保つペーパーライザと、気化したガスを空気と混合させてエンジンに送る気化器とから構成されている。これらの LPG 燃料装置はいずれも日産自動車株式会社に純正品に採用され、ライン組込用として納入され好評を博している。

26.3 点火プラグ

エンジンの高性能化と急速な車の大衆化により、一層適応性のすぐれた点火プラグが要求されつつある現状から、すでに 18mm スモールヘキサゴン、14mm ショート、メディアム、ロングリーチの高性能ハロックスシリーズ（ヒダつき）を送り出してきたが、さらに 10mm ロングリーチシリーズとして L14 および L16 が新たに追加された。

ハロックスシリーズは、点火プラグ用として理想的な特性を有する射出成形がい子に、銅中軸を組み合わせて熱放散を高め適応範囲を一層広げたシリーズで、がい子の頭部にヒダ（コルゲーション）がつけられ、従来のシリーズと区別される。

26.3.1 L14 点火プラグ

10mm ロングリーチ点火プラグで、本田技研工業株式会社のスーパーカブおよび東洋工業株式会社のマツダキャロル 360, 600, B360

の各車に適することを目的としている。

設計にあたって、これらの各車が最も普及層が広く、したがって車の整備、運転条件が千差万別であること、また国内の道路状況や混雑した交通状況のため、比較的低速の走行が多いことなどを考慮に入れ、最もマッチした熱範囲を選定した。この結果、上記適応車の需要の大半をカバーできる特性を有している。

26.3.2 L16 点火プラグ

10mm ロングリーチ点火プラグで、L14 点火プラグより熱価は高く焼形となっている。これは L14 点火プラグに比べ、発火部がい子端面を約 2mm ガス腔内に引込ませた特殊設計により、発火部がい子表面をより高温に維持するため、耐汚損性がすぐれていることを特長とする。L14 点火プラグを装着してくすぶり不調のときや寒冷地の低速走行時に好適である。

26.4 冷暖房機器

26.4.1 カーヒータおよびブロウモータ

汎用形温水循環式カーヒータとして 39 年度は、強力形カーヒータ CH120-01 形(12V 用)、CH220-01 形(24V 用)と標準形カーヒータ CH116-04 形(12V 用)、CH216-03 形(24V 用)を発売した。強力形カーヒータは暖房効果が大きく、小形車はもちろんのこと中形以上の乗用車、大形トラックなど車室の大きい車種に使用され良好な結果をおさめている。また標準形カーヒータは、コンパクトにまとめられ小形乗用車、トラックに適している。なおカーヒータスイッチは、新たに 3 段切換のものを使用され、操作、車室温度調整が容易となった。このほか専用形カーヒータに使用されるブロウモータの生産を行なった。これらのブロウモータは、材質、形状などに徹底的な研究がなされ、騒音も少なく効率も良く好評のうちに使用されている。

26.4.2 カークーラ

＜本項については、25.2 カークーラを参照＞

26.5 その他の自動車部品

26.5.1 カーラジオ

カーラジオはその品質の良さにより、国内はもとより輸出においても急伸を続けているが、39 年度は特に輸出適格品および、これからの需要が見込まれるトラック用の開発を行なった。

(1) TM-707

本機は、標準形押しボタン式 7 石カーラジオで特にツマミ間隔を国際標準の 130mm とし、輸出にも適応できるよう設計した。

また、出力トランジスタには、2S B370 を用いた OTL 出力回路を採用し 3W の高出力を得ている。

(2) TM-720

本機は、さき開発された高級形押しボタン式“TM-719”を母体とし、24V ディーゼル車専用開発したもので、専用の雑音防止器が付属している。